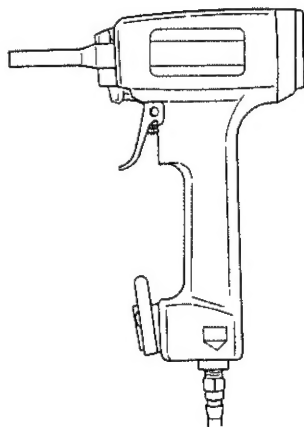


Makita

取扱説明書

エア釘抜き

モデル **AKN10**



このたびはエア釘抜きをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



本機の取扱いにあたって、エア釘抜きを能率よく、安全にお使いいただくため、取扱説明書は最後までお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法などについて充分理解の上、正しく御使用くださるようお願いいたします。

⚠ 警告

この表示は記載事項に従わないと人身事故につながる可能性がある場合を示します。

⚠ 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 必ずセーフティゴーグル(保護メガネ)を着用して使用する。
- 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。
- 使用しない時、また、調整・修理・連結釘装填の時は必ずエアホースをはずす。
- 射出口を絶対に人体に向けない。
- 移動する際は必ずエアホースをはずす。
- エアホースを接続する際は絶対にトリガ(引金)に触れない。
- エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

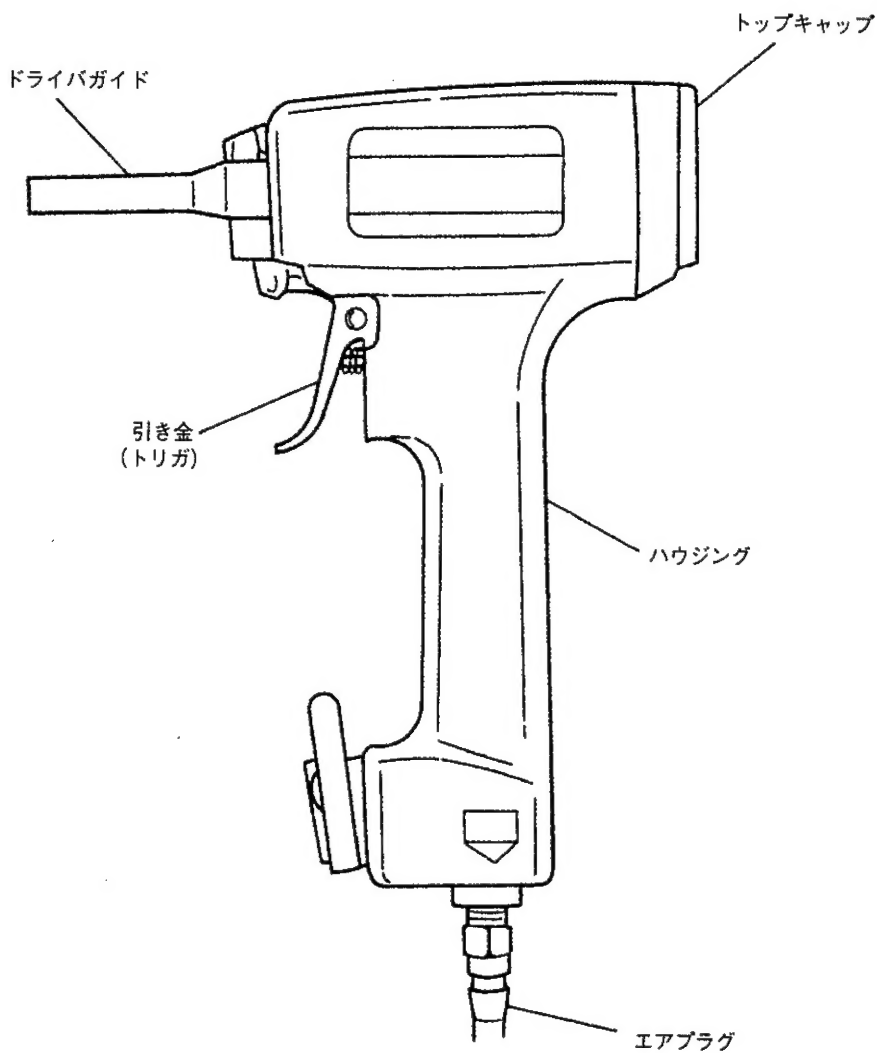
- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管して下さい。
- 本機の仕様は性能向上のため、予告なしに変更することがあります。

目 次

各部の名称	2
仕様	3
用途	4
標準付属品	4
使用前の準備	5
エア釘打を安全に使用するために	6
使用法	13
保守・点検	16

1

各部の名称



サイズ(H×L×W)	192×233×85 mm
質 量	0.8 kg
使 用 空 気 圧	0.44~0.69MPa (4.5~7.0kgf/cm ²) (レギュレーターゲージ圧)

4

用途

型枠合板用釘抜き

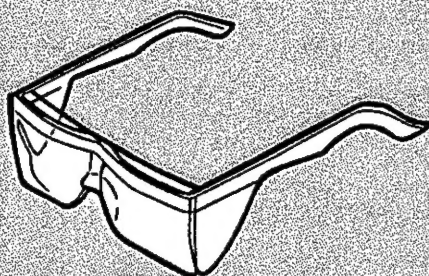
5

標準付属品

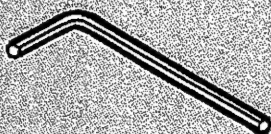
- ①油サシ……………1本
- ②六角棒レンチ……………1本
- ③セーフティゴーグル（保護メガネ）…1個



油サシ



セーフティゴーグル
（保護メガネ）



六角棒レンチ

エア釘抜きを安全に作業するために

警告

エアホース

内径6.5mm以上(2m)のエアホースを30m以内でお使いください。

給油

付属の油サシにて作業の前後にエアプラグより、タービン油を2～3滴以上注入してください。給油を怠るとエア釘抜きの寿命が短くなるばかりか、故障や事故の原因になりますので、必ず行ってください。

空気圧

空気圧の強弱は釘の長さ、釘を抜く対象物の木質によって異なります。

このエア釘抜きの使用圧力範囲は手元レギュレータゲージ圧で0.44MPa～0.69MPa (4.5kgf/cm²～7.0kgf/cm²) です。

対象物の木質により、この範囲内で調整してお使いください。

⚠ 警告

①作業関係者以外近づけない。

作業する場合には、作業者以外の人を近づけないでください。

②作業環境に応じた防具を着用すること。

作業環境に応じて、ヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。



③正しい服装で安定した姿勢で作業をする。

作業に適した服装で作業をしてください。又、無理な姿勢での作業は危険です。常に足場をかため、身体の安全を保って作業をしてください。

④作業に入る前に必ず始業点検を行う。

各部のナット、スクリューボルト、ストップリング等の締め金具が緩んでいないか、その他部品が外れたり傷んだりしていないかを点検してください。いずれの部品も、それぞれ大切な役目を果たしております。外れたり、傷んでいると故障したり、思わぬ事故を起しますので、充分注意して点検してください。

⑤給油及び圧力点検をする。

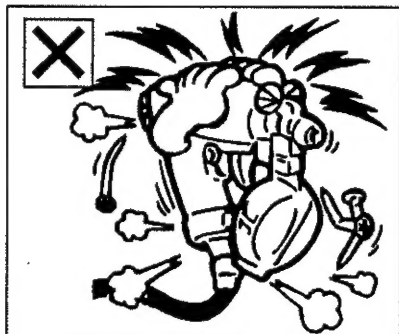
指定の圧力より低いと、エア釘抜きの機能を果たしません。又指定の圧力を越えるとエア釘抜きの寿命を早めたり、危険が生じます。

給油は、作業の前後にエア釘抜きのエアプラグより、付属の油サシでタービン油（JIS 2種 ISOVG32）を2～3滴以上注入してください。

⚠ 警告

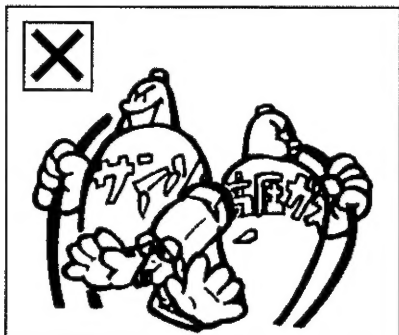
⑥エアもれや異常音が無いかを確認する。

エアホースを接続したら、まず各部にエアもれが無いかを確認してください。
次に釘を打込んでください。釘が曲がったり、異常音を発生したりしないかを確認してください。エアもれのある機械や、その他異常のある機械は絶対に使わないでください。



⑦動力源は必ず圧縮空気を使用する。

圧縮空気を動力源として使用し、酸素ボンベや高圧ガスボンベは絶対に使用してはいけません。
使用するとエア釘抜きが爆発するおそれがあります。



⑧作業現場は整理、整頓をして特に足元の整理に注意を払う。

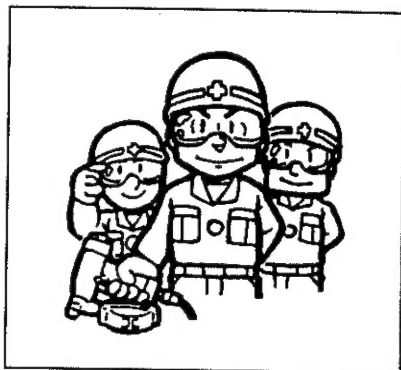
屋外作業で足場を使つての高所作業では、足場の安全性を確認してから作業を行ってください。又、作業をする場所の照明は十分に明るくしておいてください。



⚠ 警告

⑨作業中は常に保護メガネを着用する。

粉塵や、万一打ち損じたステーブルがはね返り、目に入ると危険ですから、作業をする本人だけでなく、周囲で作業をしている人も、必ず保護メガネを着用してください。

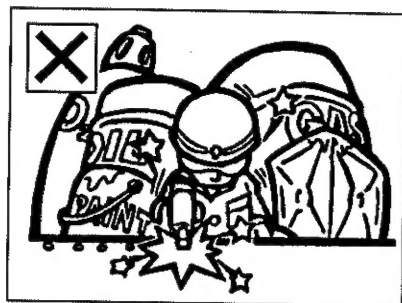


⑩防音保護具を着用する。

作業をする場合、排気音や排気エアから耳を守るため作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。

⑪危険物の近くでは作業をしない。

釘打込み時に火花が飛散することがありますので、ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス類、接着剤等、引火あるいは爆発の恐れがある物質の近くでは、絶対に作業をしてはいけません。



⑫射出口には、絶対に手を近づけないこと。又材料を手で支える時は充分注意する。

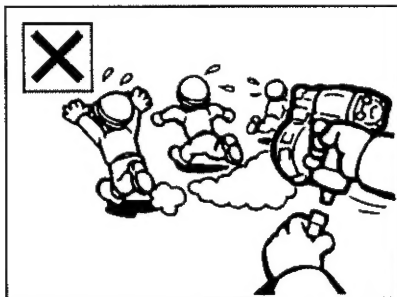
やむを得ず材料を手で支えなければならない時は、射出口付近から離し、かつ充分安全な場所を支えるようにすること。



⚠ 警告

⑬エアホース接続時は必ず下記を厳守する。

- トリガ(引き金)に触れない。
- ドライバガイドに触れない。
- ドライバガイドを押し付けない。
- 射出口を人体に向けない。



⑭移動する際は必ずエアホースをはずす。

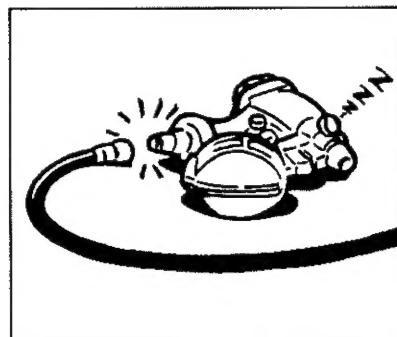
エアホースを接続した状態でトリガ(引金)を引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をする、誤って発射することがあり、思いがけない事故につながりますので移動する際はエアホースを外してください。



⑮エア釘抜きを使用しない時は必ずエアホースをはずす。

⑯作業中断時は必ずエアホースをはずす。

作業中の釘装填、調整及び釘づまりを除去するとき、誤って釘を発射すると危険ですので、エアホースをはずしてください。



⚠ 警告

⑰機体の反動に注意する。

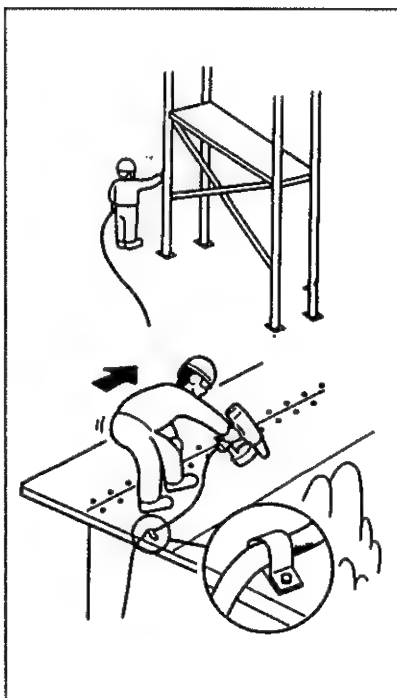
作業中はエア釘抜きの上に顔などを近づけないようにする。

⑱作業中、エア釘抜きに異常が発見されたら、ただちに使用を中止する。

エアもれ、異常音、打込み不良、その他通常の時と違った現象が確認されたら、ただちに使用を中止し、点検・修理を受けてください。

⑲高所で作業をする場合、次のことを注意する。

- 足場を使って作業をする場合、足場の安全性を充分確認して、作業をしてください。
- エアホースは作業をする場所の近くに固定してください。これは、ホースが引掛かったり、引っ張られたりすると反動で身体の安定を欠くことになり危険です。
- 屋根などの傾斜面での作業は、下から上へ向かって前進しながら行ってください。後退しながら作業をすると、足を踏み外す恐れがあります。



⑳エア釘抜きの改造は厳禁。

㉑直射日光はさける。

エア釘抜き、エアコンプレッサ、エアホースなどを、長時間直射日光のあたる場所に放置しないでください。

㉒水がかかったまま放置しない

雨等で水分がかかったまま放置しておくことサビの発生の原因となり安全装置が正しく動作しなくなる恐れがあり大変危険です。水がかかった場合は水分をよくふき取り油等を塗り、サビの防止をしてください。

警告

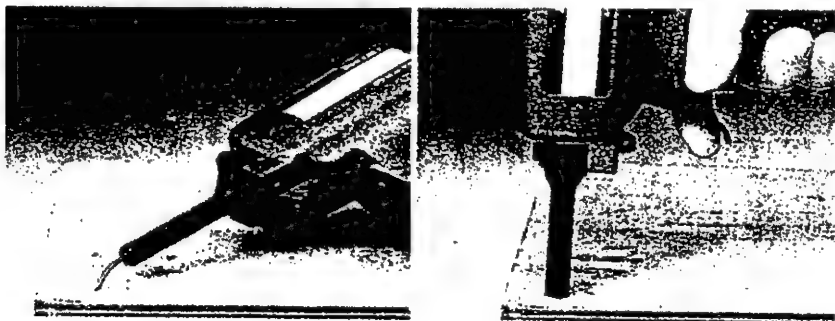
㊟使用後の注意事項

使用した後は、エアホースをはずし、エアプラグからタービン油（JIS 2 種 ISOVG32）を 2～3 滴注入してください。常温の乾燥した場所に保管してください。

8

使用法

使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。



ドライバガイド先端部（釘を入れる部分）にテーパーを付けていますので、釘の先端がコンパネに接近していても簡単に起こすことが可能です。

フックについて

⚠ 警告

フックを腰のベルトなどにかけないでください。
フックがはずれて本機が落下した場合、誤作動する恐れがあり、事故の原因になります。

- ・フックは本機を一時引っかけておくのに便利です。

⚠ 警告 釘詰りの際エアホースを必ずはずす。

エアプラグキャップ

エアホースを取外した時には、エアプラグの根元に取付けられているエアプラグキャップをはめ込んで、砂やほこり、雨水等がエア釘抜き内部に入らないようにしてください。

使用後の清掃

使用した後は、エアホースをはずし、釘を抜きとり、エアプラグからタービン油（JIS 2種 ISOVG32）を2、3滴（0.1 cc）注入してください。常温の乾燥した場所に保管してください。

エアコンプレッサ等の水抜き

作業が終わったらエアコンプレッサの電源を切り、ドレンコックを開いて、タンク内の残圧によって溜った水を抜いてください。特に湿気の多い季節は想像以上に水が溜ります。作業後は毎日、水抜きを行ってください。

又、エアセットを使用している場合は、フィルタ下部のコックを開いて水抜きをしてください。



⚠ 警告

この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

×

モ

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.

メ モ

Handwriting practice lines consisting of multiple sets of three horizontal dashed lines.

× 毛

Handwriting practice lines consisting of multiple rows of dashed lines on a white background, intended for tracing or writing practice.

× ㄗ

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines for tracing and a solid line at the bottom.

全国に拡がるアフターサービス網

・お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141	足立営業所	(03) (3899) 5855	東大阪営業所	(06) (6746) 7531
札幌営業所	(011) (783) 8141	大田営業所	(03) (3763) 7553	関西物流センター	(0725) (46) 6715
旭川営業所	(0166) (29) 0960	江戸川営業所	(03) (3653) 5171	南大阪営業所	(0725) (46) 6611
釧路営業所	(0154) (37) 4849	多摩営業所	(042) (384) 8411	奈良営業所	(0742) (61) 6484
函館営業所	(0138) (49) 9273	立川営業所	(042) (542) 1201	橿原営業所	(0744) (22) 2061
苫小牧営業所	(0144) (68) 2100	横浜支店	(045) (472) 4711	和歌山営業所	(073) (471) 4585
帯広営業所	(0155) (36) 3833	横浜営業所	(045) (472) 4711	田辺営業所	(0739) (26) 1027
北見営業所	(0157) (26) 9011	川崎営業所	(044) (811) 6167	沖縄営業所	(098) (874) 1222
仙台支店	(022) (284) 3201	平塚営業所	(0463) (54) 3914	兵庫支店	(0794) (82) 7411
仙台営業所	(022) (284) 3201	相模原営業所	(042) (757) 2501	三木営業所	(0794) (82) 7411
古川営業所	(0229) (24) 0698	湘南営業所	(0466) (87) 4001	尼崎営業所	(06) (6437) 3660
青森営業所	(017) (764) 4466	静岡支店	(054) (281) 1555	神戸営業所	(078) (672) 6121
八戸営業所	(0178) (43) 3321	静岡営業所	(054) (281) 1555	姫路営業所	(0792) (81) 0204
盛岡営業所	(019) (635) 6221	沼津営業所	(055) (923) 7811	広島支店	(082) (293) 2231
水沢営業所	(0197) (22) 5101	浜松営業所	(053) (464) 3016	広島営業所	(082) (293) 2231
郡山営業所	(024) (932) 0218	甲府営業所	(055) (276) 7212	福山営業所	(084) (923) 0960
いわき営業所	(0246) (23) 6061	金沢支店	(076) (249) 5701	三原営業所	(0848) (64) 4850
新潟支店	(025) (247) 5356	金沢営業所	(076) (249) 5701	岡山営業所	(086) (243) 4723
新潟営業所	(025) (247) 5356	七尾営業所	(0767) (52) 3533	宇部営業所	(0836) (31) 4345
長岡営業所	(0258) (30) 5530	富山営業所	(076) (451) 6260	徳山営業所	(0834) (21) 5583
山形営業所	(023) (643) 5225	高岡営業所	(0766) (21) 3177	鳥取営業所	(0857) (28) 5761
酒田営業所	(0234) (26) 3551	福井営業所	(0776) (35) 1911	松江営業所	(0852) (21) 0538
秋田営業所	(018) (863) 5205	岐阜支店	(058) (274) 1315	高松支店	(087) (841) 2201
宇都宮支店	(028) (634) 5295	岐阜営業所	(058) (274) 1315	高松営業所	(087) (841) 2201
宇都宮営業所	(028) (634) 5295	多治見営業所	(0572) (22) 4921	徳島営業所	(088) (626) 0555
小山営業所	(0285) (25) 5559	松本営業所	(0263) (25) 4696	松山営業所	(089) (951) 7666
水戸営業所	(029) (248) 2033	長野営業所	(026) (225) 1022	宇和島営業所	(0895) (22) 3785
土浦営業所	(029) (821) 6086	上田営業所	(0268) (22) 6362	高知営業所	(088) (884) 7811
関東物流センター	(048) (771) 3451	飯田営業所	(0265) (24) 1636	福岡支店	(092) (411) 9201
埼玉支店	(048) (771) 3462	名古屋支店	(052) (571) 6451	福岡営業所	(092) (411) 9201
さいたま営業所	(048) (777) 4801	名古屋営業所	(052) (571) 6451	北九州営業所	(093) (551) 3481
川越営業所	(049) (222) 2512	一宮営業所	(0586) (75) 5382	飯塚営業所	(0948) (26) 3361
熊谷営業所	(048) (521) 4647	東名古屋営業所	(0561) (73) 0072	久留米営業所	(0942) (43) 2441
越谷営業所	(0489) (76) 6155	知多営業所	(0569) (48) 8470	佐賀営業所	(0952) (30) 6603
前橋営業所	(027) (232) 5575	岡崎営業所	(0564) (22) 2443	長崎営業所	(095) (882) 6112
高崎営業所	(027) (365) 3688	豊橋営業所	(0532) (46) 9117	佐世保営業所	(0956) (33) 4991
岡毛営業所	(0276) (46) 7661	四日市営業所	(0593) (51) 0727	熊本支店	(096) (389) 4300
千葉支店	(043) (231) 5521	津営業所	(059) (232) 2446	熊本営業所	(096) (389) 4300
千葉営業所	(043) (231) 5521	伊勢営業所	(0596) (36) 3210	八代営業所	(0965) (43) 1000
市川営業所	(047) (328) 1554	京都支店	(075) (621) 1135	大分営業所	(097) (567) 3320
成田営業所	(0478) (73) 8101	京都営業所	(075) (621) 1135	宮崎営業所	(0985) (26) 1236
木更津営業所	(0438) (23) 2908	福岡山営業所	(0773) (23) 7733	鹿児島営業所	(099) (267) 5234
柏営業所	(04) (7175) 0411	大津営業所	(077) (545) 5594	沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
東京支店	(03) (3816) 1141	彦根営業所	(0749) (22) 6184		
東京営業所	(03) (3816) 1141	大阪支店	(06) (6351) 8771		
中野営業所	(03) (3337) 8431	大阪営業所	(06) (6351) 8771		